



2022年6月30日

各位

会社名 株式会社ダイセキ  
 代表者の役職・氏名 代表取締役社長 山本 哲也  
 (コード番号9793 東証プライム・名証プレミア)  
 問い合わせ先 執行役員企画管理本部長 片瀬 秀樹  
 (電話番号 052-611-6322)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年6月30日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年4月5日に公表いたしました2023年2月期(2022年3月1日から2023年2月28日まで)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 業績予想数値の修正

##### ① 2023年2月期第2四半期累計連結業績予想数値の修正(2022年3月1日～2022年8月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり連結 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 30,400	百万円 6,970	百万円 7,020	百万円 4,410	円 銭 87.20
今回修正予想(B)	28,400	6,370	6,420	4,000	79.89
増減額(B-A)	△2,000	△600	△600	△410	
増減率(%)	△6.5%	△8.6%	△8.5%	△9.2%	
(参考)前期中間実績 (2022年2月期中間)	29,041	6,829	6,904	4,318	84.06 (注)

(注) 当社は2021年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2021年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

##### ② 2023年2月期通期連結業績予想数値の修正(2022年3月1日～2023年2月28日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 61,000	百万円 14,000	百万円 14,100	百万円 8,800	円 銭 174.02
今回修正予想(B)	59,000	13,600	13,700	8,500	169.77
増減額(B-A)	△2,000	△400	△400	△300	
増減率(%)	△3.2%	△2.8%	△2.8%	△3.4%	
(参考)前期実績 (2022年2月期)	56,867	12,940	13,118	8,376	164.02



## 2. 修正の理由

当第1四半期連結累計期間におきましては、引続き新型コロナウイルス感染症拡大長期化の影響や、ウクライナ・ロシア情勢や急激な円安による物価上昇など、依然として景気の動向は予断を許さない状況が続いております。このような状況下、当社グループを取り巻く事業環境は、原材料やエネルギー価格の上昇等や、5月には半導体の部品不足により生産調整の実施を余儀なくされた自動車業界などで景況感がやや悪化する局面もありましたが、原油価格の上昇に伴い、リサイクル燃料の販売価格も徐々に上昇し、採算は改善され、株式会社ダイセキは増収増益となりました。また、株式会社ダイセキMCRが手掛ける鉛リサイクル事業は、円安による鉛相場の高止まりにより、採算は大きく改善いたしました。しかし、株式会社ダイセキ環境ソリューションが手掛ける土壌汚染処理関連事業は、大都市圏における低価格競争は激しいものでした。同社の強みを生かしたコンサルティング営業等により高付加価値案件の獲得に向けた営業活動を積極的に展開いたしました。が、昨年業績に大きく寄与した大型インフラ整備案件や大型工事案件の受注は端境期となり伸び悩みました。そして、システム機工株式会社が手掛ける大型タンク等の洗浄事業も、工事の完了が当初計画より遅れたため、売上計上は、計画を下回りました。

以上の背景により、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益の業績予想は、ダイセキ環境ソリューションのマイナス要因相当分を反映し、下方修正いたしました。なお、今回業績の下方修正をいたしました。が、配当予想の修正はありません。

以 上